

光の位置を考える

～ ポイントは鉛直面で想像すること ～

● 光の大きさ
 落ちて着いた部屋の空間を作る際にはひかりの位置を下にすることを検討します。

● 壁の高さ

壁を50ミリから100ミリふかし、ふかしたところに照明器具を仕込みます。壁の高さをなわち照明の高さによって空間見え方に大きな差が生まれます。インテリアを考える際には重要なポイントになるでしょう。壁の素材を選ぶきっかけにもなり、選んだ素材を引き立てることも繋がりがあります。これを施主に伝えます。もしもこれを知らなかったら、施工は大きな機会損失を被るでしょう。

● 壁の高さ

照明の位置（高さ）によって、空間の見え方が大きく変わります。平面図で照明設計をすると見えな（わからない）くても展開図で見ると想像できます。なので、照明（ひかり）を考える時は鉛直面で考える必要があるのはこのためなんです。

照明の高さとリラクゼーション

壁面全体を演出するならコーニス照明を使いたくなるのはわかりますが、そこをぐっとこらえてダブルスタンドを低い位置に置いてみてはどうでしょう。床面より少し高く。私は床面から500ミリ程度が好きです。テーパースタンド専用のスペースを作る。更に、このスタンドは「スマートプラグコンセント」を絡めて自動で点灯消灯する仕組みを仕掛ける。おススメの照明提案です。



灯りコラム Vol.43



知識の引き出しは大いに越したことはありません。空間の大きさや予算に応じて臨機応変にアイディアを考える。考えながら実際のひかり空間を体感してみる。これが経験値としてあなたの記憶に残し、あなたのスキルとして蓄積されるでしょう。

さあ、雑貨店でテーパースタンド照明を買い、Amazonや楽天でスマートプラグコンセントを買って実験開始です。

株式会社 灯り計画

提案の照明計画を切り口に暮らしたいか。照明の幅を広げたり、立明かしたいか。演出の必須アイテム。照明の効果を最大化したいか。演出の必須アイテム。照明の効果を最大化したいか。

info@design-akari.com
 Tel : 04-7196-7142